

科目名	社会科学講義実戦(政治)						
科目名(英)							
単位数	2単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/30時間	担当者	田中 純一	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員1次(教養)試験対策として、社会科学(政治分野)の問題演習を行う。 1年次に習得した知識を、実戦を通して発揮できるようにする。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					社会科学(政治・社会)の正確な知識が習得できているか確認を行う。	
		○				過去の本試験の問題演習において、正答率80%以上を達成できるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【社会科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【社会科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	政治分野:「国会」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	2	政治分野:「内閣」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	3	政治分野:「裁判所」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	4	政治分野:「三権分立」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	5	政治分野:「政治制度」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	6	政治分野:「地方自治」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	7	政治分野:「選挙制度」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	8	政治分野:「民主主義(1)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	9	政治分野:「民主主義(2)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	10	政治分野:「日本国憲法(1)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	11	政治分野:「日本国憲法(2)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	12	政治分野:「基本的人権(1)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	13	政治分野:「基本的人権(2)」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	14	政治分野:「国際政治」				授業前に1年次に学習した内容を確認しておく。 授業後は授業中に取り扱った問題の復習を行う。	
	15	時事対策				授業後は授業中に取り扱った内容の復習を行う。	
評価方法	4～6月に実施する模擬試験における社会科学(政治・社会分野)の問題につき、その得点率を基に、100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	社会科学講義実戦(経済)						
科目名(英)	Lectures and Practices of Social Sciences "Economic"						
単位数	2単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/30時間	担当者	本多 利幸	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	初級程度公務員一次試験に向けた社会科学の経済分野の問題演習の実施。1年時に身につけた知識を、実戦形式で発揮できるようにする。過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				社会科学(経済)の要点を理解し、公務員試験過去問題で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【社会科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) 一問一答暗記テキスト2023年度『原点』 配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	市場・価格				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	2	企業				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	3	景気・物価				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	4	金融 1				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	5	金融 2				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	6	金融 3				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	7	試験問題解説				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	8	財政 1				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	9	財政 2				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	10	財政 3				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	11	為替・貿易				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	12	国際経済				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	13	経済指標				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	14	日本経済史				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
	15	経済学史				問題集の該当範囲を事前に読んでおくこと。「一問一答暗記テキスト原点」の該当箇所を学習しておくこと。	
評価方法	4月～6月での模擬試験における社会科学(経済分野)の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	授業後の復習を必ず実施すること。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義実戦(日本史)						
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/60時間	担当者	児玉 博基	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(日本史)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。過去問演習を重ねることが「人文科学(日本史)」の試験対策の準備と考える。						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					人文科学(日本史)の流れと知識を深めるとともに問題に対応できる学力を養う。	
		○				問題演習では正答率を上げるよう、正しい知識を確認していく。	
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『絶対合格シリーズ【人文科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	テキスト編 明治の文化 近代5 大正(護憲運動1、第一次世界大戦)				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	2	テキスト編 近代5 大正(協調外交と護憲運動2、大衆文化) 近代6 昭和1(協調外交から強硬外交)				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	3	テキスト編 近代6(政党政治の終焉と軍中心の運営) 近代7(日中戦争と国内の動き)				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	4	テキスト編 近代7(日米開戦) 現代1(戦後処理と復興)				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	5	テキスト編 現代1(国際社会への復帰) 現代2(高度経済成長1)				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	6	テキスト編 現代2(高度経済成長2) 問題集編 近世				授業で配布するプリントの確認テストを実施	
	7	問題集編 近世				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	8	問題集編 近世				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	9	問題集編 近世、近代				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	10	問題集編 近代				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	11	問題集編 近代				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	12	問題集編 近代、現代				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	13	問題集編 現代				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
	14	問題集編 現代、文化史				授業始めに前回解いた問題のテストを実施	
15	問題集編 文化史、分野横断問題				授業始めに前回解いた問題のテストを実施		
評価方法	4～6月に実施する模擬試験における社会科学(政治・社会分野)の問題につき、その得点率を基に、100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		人文科学講義実戦(世界史)					
科目名(英)							
単位数	4単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/60時間	担当者	福田 一総		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員総合科2年					
授業概要		公務員試験過去問題を使用し、演習講義を行う。主に、近現代史・中国史を演習・解説を行い、空間軸、時間軸を解説し、流れを把握させる。					
授業形態		講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				人文科学(世界史)の要点を理解し、公務員試験過去問で正答率80%が達成できる正しい知識を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書		『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『絶対合格シリーズ【人文科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	問題集編 古代				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	2	問題集編 中世				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	3	問題集編 宗教革命と近世ヨーロッパ				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	4	問題集編 宗教革命と近世ヨーロッパ				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	5	問題集編 市民革命				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	6	問題集編 市民革命				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	7	問題集編 産業革命と帝国主義				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	8	問題集編 産業革命と帝国主義				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	9	問題集編 二つの世界大戦				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	10	問題集編 第二次世界大戦後・冷戦				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	11	問題集編 第二次世界大戦後・冷戦				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	12	問題集編 中国史				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	13	問題集編 中国史				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	14	問題集編 中国近現代史				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
	15	問題集編 中国近現代史				該当単元のテキストの内容を事前に復習しておくこと。□	
評価方法	4月～6月での模擬試験における人文科学(世界史)の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点および標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模試試験	◎	◎				100%
履修上の注意		社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。					

科目名	人文科学講義実戦(地理)						
科目名(英)	Geography						
単位数	4単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/60時間	担当者	馬場 秀樹	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)での頻出単元である「人文科学(地理)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。過去問演習を重ねることが「人文科学(地理)」の攻略のポイントであるとする。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		人文科学(地理)の要点を理解し、公務員試験過去問題の解答で正答率80%が達成できる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【人文科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【人文科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)※前年度使用分 ・新詳高等地図(帝国書院発行)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	人文科学問題集 地理 1 気候・土壌・風①				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	2	人文科学問題集 地理 1 気候・土壌・風②				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	3	人文科学問題集 地理 2 地形①				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	4	人文科学問題集 地理 2 地形②				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	5	人文科学問題集 地理 3 地図・時差				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	6	人文科学問題集 地理 4 植生・農業				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	7	人文科学問題集 地理 5 産業・貿易・発電				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	8	人文科学問題集 地理 6 日本				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	9	人文科学問題集 地理 7 アジア・アフリカ①				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	10	人文科学問題集 地理 7 アジア・アフリカ②				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	11	人文科学問題集 地理 7 アジア・アフリカ③				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	12	人文科学問題集 地理 8 ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア①				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	13	人文科学問題集 地理 8 ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア②				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	14	人文科学問題集 地理 8 ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア③				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
	15	人文科学問題集 地理 9 人口・海流漁業・環境・地名・民族				該当単元のテキストの内容を事前に確認しておくことが望ましい。	
評価方法	4月～7月の模擬試験における人文科学(日本史)の総合計点を算出し、満点を100点と換算する。 個々の平均得点にて下記の基準に沿って評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験正答率	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	人文科学講義実戦(人文演習)									
科目名(英)										
単位数	4単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/60時間		担当者	馬場 秀樹			
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	公務員総合科2年									
授業概要	公務員試験に出題される人文科学のうち、過去出題問題を教材として、歴史分野を中心に演習を行う。									
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:		実技:	※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標				
	○	○				初級公務員試験過去問題に正解できる。				
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【人文科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	人文演習1					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	2	人文演習2					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	3	人文演習3					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	4	人文演習4					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	5	人文演習5					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	6	人文演習6					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	7	人文演習7					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	8	人文演習8					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	9	人文演習9					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	10	人文演習10					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	11	人文演習11					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	12	人文演習12					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	13	人文演習13					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
	14	人文演習14					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。			
15	人文総合演習					授業の復習と問題集の指定の問題を解くこと。				
評価方法	模試採点結果(総合得点)から換算した点数の平均得点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	模擬試験		◎	◎				100%		
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	自然科学講義実戦(物理・地学)							
科目名(英)								
単位数	3単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/45時間	担当者	中泉 満智栄		
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年							
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「自然科学(地学・物理)」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。地学・物理分野の要点を踏まえ、過去問演習を中心に知識の確認を行う。							
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					自然科学(地学・物理)の要点を理解し、公務員試験問題で正答率80%が達成できる。		
テキスト・教材 参考図書	『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 『絶対合格シリーズ【自然科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) 一問一答暗記テキスト2023年度『原点』							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	地学1 ①地球の内部 ⑩地球の歴史						
	2	地学2 ②地震 ③岩石・火山						
	3	地学3 ④大気 of 構成						
	4	地学4 ⑤天気						
	5	地学5 ⑥地球の運動 ⑦太陽・月						
	6	地学6 ⑧太陽系の天体						
	7	地学7 ⑨恒星と宇宙						
	8	物理 力						
	9	物理 滑車・てんびん						
	10	物理 物体の運動						
	11	物理 力学的エネルギー・熱量						
	12	物理 電気						
	13	物理 波動						
	14	物理 放射線						
評価方法	15	復習						
	4月～7月の模擬試験における自然科学(化学・生物)の総合計点を算出し、100点換算する。個々の平均得点にて次の基準に沿って評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		◎	◎				100%
履修上の注意								
	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名		自然科学講義実戦(生物・化学)					
科目名(英)							
単位数	3単位 (1単位に相当)	時間数	15時間/45時間	担当者	山端 亜弥		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年		公務員総合科2年					
授業概要		生物・化学の知識を習得し、幅広い教養を身に付ける。また、生物・化学の各単元の仕組みを理解することで、視野と発想力を養う。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				生物・化学の要点を理解し、本試験における標準レベルの問題について、正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書		・『絶対合格シリーズ【自然科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【自然科学】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年)					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	化学1 ①物質の構造				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.68～71)	
	2	化学2 ②モル・化学反応式				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.72～75)	
	3	化学3 ③酸と塩基				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.76～78)	
	4	化学4 ④酸化・還元				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.80～83)	
	5	化学5 ⑤周期表				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.84～87)	
	6	化学6 ⑥気体				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.88～91)	
	7	化学7 ⑦気体の性質・溶解度				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.92～94)	
	8	化学8 ⑧金属の性質				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.96～98)	
	9	生物1 ①生体のつくり ②細胞分裂・生殖				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.100～106)	
	10	生物2 ③遺伝 ④酵素				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.108～114)	
	11	生物3 ⑤異化(呼吸・発酵) ⑥同化(光合成・窒素同化)				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.116～121)	
	12	生物4 ⑦刺激と反応 ⑧恒常性と調節(1)				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.122～128)	
	13	生物5 ⑨恒常性と調節(2)				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.130～134)	
	14	生物6 ⑩植物の反応・動物の行動				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.136～139)	
	15	生物7 ⑪生態系・進化				【事後】授業範囲の問題を解く(指定問題集P.140～143)	
評価方法	4月～7月での模擬試験における自然科学(生物・化学分野)の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	自然科学講義実戦(数学・資料解釈)									
科目名(英)										
単位数	3単位		時間数	15時間/45時間		担当者	賀来 美和			
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	公務員総合科2年									
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「数学」及び「資料解釈」での得点率を上げることを学習目標に講義を行う。要点を踏まえ、過去問演習を中心に小テストで知識の確認を行う。									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					数学・資料解釈分野の要点を理解し、初級程度公務員試験過去問題の解答で平均正答率80%が達成できる。				
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【自然科学】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	数 学 1	さまざまな計算			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	2	資料解釈 1	実数と構成比①			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	3	数 学 2	2次方程式と2次不等式			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	4	資料解釈 2	実数と構成比②			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	5	数 学 3	2次関数①			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	6	資料解釈 3	実数と構成比③			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	7	数 学 4	2次関数②			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	8	資料解釈 4	実数と構成比④			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	9	数 学 5	三角比			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	10	資料解釈 5	指数と構成比①			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	11	数 学 6	その他の分野			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	12	資料解釈 6	指数と構成比②			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	13	数 学 7	総合演習			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
	14	資料解釈 7	増減率①			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。				
15	資料解釈 8	増減率②			授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。					
評価方法	4～6月に実施する模擬試験における数学・資料解釈の問題につき、その得点率を基に、100点満点に換算し評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
		模擬試験	◎	◎				100%		
履修上の注意	「資料解釈」は本来「自然科学」分野には含まれないが、「数学」との関連性が強く、数学と一体的に勉強することで相乗効果が期待できるため、自然科学講義実戦の中で取り扱うこととする。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	文章理解講義実戦(和文)						
科目名(英)							
単位数	2単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/30時間	担当者	佐藤 美聡	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	文章読解を通して、幅広い教養を身に付ける。また、国語分野の学習を通じて豊かな表現力を養う。						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				本試験における標準レベルの問題(文章読解)について、正解に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・『高卒程度公務員試験対策 国語・英語・文章理解 テキスト&問題集[第1版]』 (株式会社ウィネット、株式会社第一印刷所、2021年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	2	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	3	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	4	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	5	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	6	国語総復習テスト					
	7	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	8	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	9	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	10	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	11	問題演習(内容一致・要旨・空欄・文章整序)、国語テスト					
	12	国語総復習テスト					
	13	模擬試験演習(和文5題＋国語2題)					
	14	模擬試験演習(和文5題＋国語2題)					
	15	模擬試験演習(和文5題＋国語2題)					
評価方法	7月の模擬試験における文章理解(和文分野)の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	文章理解講義実戦(英語・作文)									
科目名(英)										
単位数	2単位 (1単位に相当)			時間数	15時間/30時間		担当者	本多利幸/合力朱実		
実施年度	2023年度			実施時期	前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年									
授業概要	公務員試験の一次試験(筆記試験)で「文章理解(英語)＋英語(文法)」での得点率を上げることを学習目標に掲げ、講義を行う。また、一次試験および二次試験における作文の書き方・実際に書いての添削等を行う。									
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:		実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				文章理解(英文)、英文法において、正解を導くための解法・知識を習得する。				
	○	○				自分の意見を的確に伝えるための文章力を身につけ、合格できる作文が書けるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	・日本能率協会マネジメントセンター 文章表現力基本テキスト ・『高卒程度公務員試験対策 国語・英語・文章理解テキスト&問題集』(ウィネット、2023年)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	文章表現の基本を学ぶ(伝わる文章を書くためのポイントについて)								
	2	文章表現の基本を学ぶ(標記上ルール、原稿用紙の使い方について)								
	3	文章表現の基本を学ぶ(練習問題に取り組み、自分の課題を知る)								
	4	作文の書き方を学ぶ(作文を書く手順、作文の草稿を書く)								
	5	作文の書き方を学ぶ(作文の自己評価・推敲・清書)								
	6	意見文が書けるようになる(事実・意見・根拠の違いについて)								
	7	意見文が書けるようになる(意見文を書く・グループでの評価)								
	8	小論文の書き方を学ぶ(小論文の構成・書く手順)								
	9	小論文の書き方を学ぶ(小論文の完成・添削・清書)								
	10	合格する作文を書くためのポイントについて								
	11	【英語】1章◆熟語(過去問題演習・解説)					【授業後】テキストP.46・48・50・52・54の英熟語を覚える。			
	12	【英語】2章◆文法①(過去問題演習・解説)					【授業後】テキストP.46・48・50・52・54の英熟語を覚える。			
	13	【英語】3章◆文法②(過去問題演習・解説)					【授業後】テキストP.46・48・50・52・54の英熟語を覚える。			
	14	【英語】4章◆文法③(過去問題演習・解説)					【授業後】テキストP.46・48・50・52・54の英熟語を覚える。			
	15	【英語】5章◆文法④(過去問題演習・解説)・英熟語テスト					【授業後】テキストP.46・48・50・52・54の英熟語を覚える。			
評価方法	4月～6月での模擬試験における文章理解(英語分野)の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。また課題作文の提出を必須とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	模擬試験	◎	◎				50%			
	作文	◎	◎				50%			
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	判断推理講義実戦						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	山本 剛
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験において過去に出題された判断推理の解法を学び、演習講義を通して判断推理の思考を身に付ける。問題を分析して課題処理を行い必要な解法を用いて問題を解く方法を実戦的に学ぶ。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					単元別に必要な解法を理解し、判断推理問題を解くことができる。	
		○				問題を分析し課題処理を行い、判断推理問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】問題集編』（株式会社麻生キャリアサポート、2023年）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	論理分野 単元別演習 「対応関係」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	2	論理分野 単元別演習 「対応関係」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	3	論理分野 単元別演習 「順序関係」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	4	論理分野 単元別演習 「順序関係」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	5	論理分野 単元別演習 「位置・方位」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	6	論理分野 単元別演習 「位置・方位」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	7	論理分野 単元別演習 「論理」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	8	論理分野 単元別演習 「論理」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	9	論理分野 単元別演習 「手順」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	10	論理分野 単元別演習 「手順」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	11	論理分野 単元別演習 「数量推理」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	12	論理分野 単元別演習 「試合・勝敗」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	13	論理分野 単元別演習 「うそつき」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	14	論理分野 単元別演習 「暗号」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	15	論理分野 単元別演習 「集合人数」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
評価方法	4月～6月での模擬試験における判断推理の総出題数を分母として、正答に達した割合（正答率）を算出する。この正答率を所定の基準（平均点及び標準偏差等）を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	数的推理講義実戦A							
科目名(英)								
単位数	2単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/30時間	担当者	長友 裕幸		
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科2年							
授業概要	公務員試験において過去に出題された数的推理の解法を学ぶ講義を通して数学的思考を身に付ける。数量課題を自ら分析して理解し、必要な式を用いて問題を解く方法を実戦的に学ぶ。							
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					単元別に必要な定理、解法を理解し、数的推理問題を解くことができる。		
		○				問題を分析し、適切な計算式を用いて数的推理問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・オリジナル演習プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	場合の数(数え上げと順列)				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	2	場合の数(順列と組合せ)				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	3	確率(順列と組合せ)				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	4	確率(排反・独立)				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	5	確率(反復試行・条件付確率・期待値)				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	6	旅人算				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	7	通過算				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	8	流水算				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	9	その他の速さ問題				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	10	仕事算・ニュートン算				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	11	比と割合				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	12	約数・倍数				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	13	整数				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	14	数列・規則				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
	15	その他の数量問題				授業範囲についてテキスト・プリントの問題を反復練習する。		
評価方法	4月～6月での模擬試験における数的推理の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名	数的推理講義実戦B						
科目名(英)							
単位数	2単位 (1単位に相当)		時間数	15時間/30時間	担当者	山本 剛	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験において過去に出題された判断推理・数的推理の図形分野の解法を学び、演習講義を通して判断推理・数的推理の図形分野における思考を身に付ける。問題を分析して課題処理を行い必要な解法を用いて問題を解く方法を実戦的に学ぶ。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					単元別に必要な解法を理解し、図形分野問題を解くことができる。	
		○				問題を分析し課題処理を行い、図形分野問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【判断推理】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年) ・『絶対合格シリーズ【数的推理】問題集編』(株式会社麻生キャリアサポート、2023年)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	数的推理 図形分野 単元別演習 「三角形と多角形」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	2	数的推理 図形分野 単元別演習 「円」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	3	数的推理 図形分野 単元別演習 「面積(三角形)」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	4	数的推理 図形分野 単元別演習 「面積(円・扇型)」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	5	数的推理 図形分野 単元別演習 「面積(その他)」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	6	数的推理 図形分野 単元別演習 「立体」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	7	判断推理 図形分野 単元別演習 「折り紙」、「道順・位相」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	8	判断推理 図形分野 単元別演習 「展開図(1)」、				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	9	判断推理 図形分野 単元別演習 「展開図(2)サイコロ」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	10	判断推理 図形分野 単元別演習 「平面図形(1)、(2)」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	11	判断推理 図形分野 単元別演習 「軌跡」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	12	判断推理 図形分野 単元別演習 「空間図形の分割」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	13	判断推理 図形分野 単元別演習 「多面体・切断・回転」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	14	判断推理 図形分野 単元別演習 「空間図形の投影」				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
	15	数的推理 判断推理 図形分野 総合演習				授業範囲におけるテキストの問題の反復練習	
評価方法	4月～6月での模擬試験における判断推理の総出題数を分母として、正答に達した割合(正答率)を算出する。この正答率を所定の基準(平均点及び標準偏差等)を用いて、100点を満点とした点数に換算する。その点数につき、成績評価として、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)の評定を行う。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名		適性一般知識演習実戦									
科目名(英)											
単位数	5単位		時間数	75時間		担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳				
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験					
対象学科・学年		公務員総合科2年									
授業概要		事務適性試験演習を通し、事務処理能力を身に付ける。 また、事前に指定された範囲の暗記確認テストを受験し、知識科目の定着状況を確認する。									
授業形態		講義：		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標					
		○				事務適性試験を解き、処理速度をあげ、より正確に多くの問題を解くことができる。					
	○					社会科学、人文科学、自然科学の基礎的な事項の確認を行い、出題に解答できる。					
テキスト・教材 参考図書		・ウィネット適性検査演習問題(全80回) ・一問一答暗記テキスト2022年度『原点』									
	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	事務適性試験・一般知識演習1						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	2	事務適性試験・一般知識演習2						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	3	事務適性試験・一般知識演習3						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	4	事務適性試験・一般知識演習4						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	5	事務適性試験・一般知識演習5						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	6	事務適性試験・一般知識演習6						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	7	事務適性試験・一般知識演習7						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	8	事務適性試験・一般知識演習8						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	9	事務適性試験・一般知識演習9						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	10	事務適性試験・一般知識演習10						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	11	事務適性試験・一般知識演習11						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	12	事務適性試験・一般知識演習12						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	13	事務適性試験・一般知識演習13						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	14	事務適性試験・一般知識演習14						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	15	事務適性試験・一般知識演習15						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	16	事務適性試験・一般知識演習16						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	17	事務適性試験・一般知識演習17						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	18	事務適性試験・一般知識演習18						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	19	事務適性試験・一般知識演習19						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	20	事務適性試験・一般知識演習20						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	21	事務適性試験・一般知識演習21						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	22	事務適性試験・一般知識演習22						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	23	事務適性試験・一般知識演習23						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			
	24	事務適性試験・一般知識演習24						一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること			

[illegible]

	66	事務適性試験・一般知識演習66	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	67	事務適性試験・一般知識演習67	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	68	事務適性試験・一般知識演習68	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	69	事務適性試験・一般知識演習69	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	70	事務適性試験・一般知識演習70	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	71	事務適性試験・一般知識演習71	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	72	事務適性試験・一般知識演習72	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	73	事務適性試験・一般知識演習73	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	74	事務適性試験・一般知識演習74	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
	75	事務適性試験・一般知識演習75	一問一答集のうち、指定した範囲を暗記すること				
評価方法	事務適性試験、一般知識演習試験の正答率を、100点満点に換算し総合評価。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	事務適性試験	◎	◎				80%
	演習試験	◎	◎				20%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	GCB II							
科目名(英)								
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳	
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年							
授業概要	公務員として、地域・国家の発展に貢献する人材となるため、志を立て、将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現する。そこで本授業では、成功者の考え方や力のある端的なメッセージに触れ、世界を取り巻く情報を知り、自らのあり方を考え、思いを言語化していく。							
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
				○		考えることの大切さを知り、自らの考えを言葉で伝えられる。		
				○		目標の大切さ、志の大切さを知り、自らの行動方針を立てることができる。		
テキスト・教材 参考図書	GCB II テキスト							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	第1講座 グローバル・シティズンと志(1)						
	2	第1講座 グローバル・シティズンと志(2)						
	3	第3講座 自己を知る(1)						
	4	第3講座 自己を知る(2)						
	5	第2講座 なぜ志を立てることが大切なのか						
	6	第4講座 伝える力を学ぶ(1)						
	7	第4講座 伝える力を学ぶ(2)						
	8	第5講座 伝える力を学ぶ(3)						
	9	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(1)						
	10	第6講座 与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる(2)						
	11	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(1)						
	12	第7講座 自己の大切さと責任を自覚する(2)						
	13	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(1)						
	14	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(2)						
	15	第8講座 GCB II 講座を経験し得たこと(3)						
評価方法	単位取得のための出席要件を満たした上で、スピーチの発表やレポートの提出を以て評価を行う。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たさない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	発表				◎		60%	
	レポート				○		40%	
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。							

科目名	公務員リテラシー実戦Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	50時間	担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員となるために必要な事項について、総合的に理解し、実践する。公務員の仕事について理解を深め、自らの描くキャリアプランに基づいた就職活動を推進するための指針を得る。また、自己分析やそれに基づく模擬面接を行い、適切な自己表現について実践的に学ぶ。集団討論を実施し、グループでの役割について学ぶ。公務員試験において問われる教養や体力基準についての対策も行う。						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		自己分析を行い、自己PRができる。	
	○	○				公務員の職種理解を深め、自らの適性に応じた進路選択ができる。	
	○	○				公務員になるために求められる基準を知り、基準を超えるための対策ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本能率協会マネジメントセンター 文章表現力基本テキスト その他、授業に応じてレジュメを配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		1. 一般教養演習 18回					
		2. 受験戦略ガイダンス 5回					
		3. 時事対策 5回					
		4. 作文演習・要約演習 5回					
		5. 面接対策・討論対策 5回					
		6. 事務対策・公安対策 2回					
		7. 選択授業 10回					
評価方法	単位取得のための出席要件を満たした上で、レポートや課題提出を以て評価を行う。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たさない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート・課題	◎	○		○		100%
履修上の注意	2023年度の公務員試験実施内容によって、授業計画で示した授業内容に変更が生ずることもありうる。社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー実戦Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	50時間		担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員一次試験の後に、面接試験など二次試験に向けた知識の習得と、教養試験の理解度を深める授業を実施する。授業運営に関しては、前記の内容を2つのグループに分けて実施する。						
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				教養試験で問われる知識を習得し、模擬試験で6割以上正答できる。	
	○	○				二次試験で問われる知識を習得し、効果的な自己PRができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	・合格手帳(受験手帳) ・高卒程度公務員試験過去出題問題						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
		■面接試験対策グループ					
	1	【面接試験対策】①面接必要書類作成					
	2	【面接試験対策】②自己分析					
	3	【面接試験対策】③面接対応演習：個別面接					
	4	【面接試験対策】④面接対応演習：集団面接					
	5	【面接試験対策】⑤集団討論演習					
	6	【面接試験対策】⑥グループワーク演習					
		■筆記試験対策グループ					
	7	【筆記試験対策】①地方公務員試験型Ⅰ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	8	【筆記試験対策】②地方公務員試験型Ⅱ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	9	【筆記試験対策】③地方公務員試験型Ⅲ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	10	【筆記試験対策】④地方公務員試験型Ⅳ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
	11	【筆記試験対策】⑤地方公務員試験型Ⅴ ※試験形式に応じた問題演習を実施。					
評価方法	面接試験対策グループは合格手帳(受験手帳)、筆記試験対策グループは解答マークシートの提出により評価を行う。評価条件を満たしている場合にはR評価(合格)とし、満たない場合にはD評価(不合格)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	総合演習実戦						
科目名(英)							
単位数	5単位		時間数	75時間		担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員に必要とされる教養と自己表現を総合的に身に付ける。「教養」については、実際に演習を行い、解説を受講する。出題頻度の高い問題を中心に、重要事項を学ぶ。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				初級公務員試験に出題される問題傾向を知り、その分析と対策ができる。	
	○	○				文章の書き方を身に付け、文章で自己表現することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート 全国統一公務員模試、初級公務員試験過去問題(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		以下、全15回の過去問演習を行い、解説を受講する。					
		1. 裁判所職員採用試験過去問題 2回					
		2. 東京都職員・特別区職員採用試験過去問題 2回					
		3. 海上保安学校特別試験過去問題 3回					
		4. 刑務官・海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官過去問題 5回					
		5. 東京消防庁・警視庁過去問題 3回					
		以下、全45回の授業および演習を行う。					
		1. 過去問演習 10回					
		2. 過去問解説演習 10回					
		3. 教養定着度演習 25回					
評価方法	模試点数結果(総合得点)を一定の点数に換算したものと、文章表現力レポートの提出によって、総合評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	○				70%
	レポート	○	○				30%
履修上の注意	2023年度の公務員試験実施内容によって、授業計画で示した授業内容に変更が生ずることもありうる。社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養演習実戦Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	公務員総合科2年											
授業概要	初級公務員採用試験の過去出題問題や、公務員模擬試験を教材として、一般教養試験の実戦的演習を行う。教養演習を通して制限時間内に最適解を導く力を身に付ける。											
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				知識分野、知能分野の解法を理解し、初級公務員試験模擬試験で正解できる。						
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート 全国統一公務員模試、初級公務員試験過去問題(プリント)											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
		以下、全30回の模擬試験、過去問演習を行う。										
		1. 国家一般職・税務職員採用試験過去問題 2回										
		2. 東京都職員採用試験過去問題 3回										
		3. 特別区職員採用試験過去問題 4回										
		4. 警視庁警察官採用試験過去問題 2回										
		5. 東京消防庁消防官Ⅲ類採用試験過去問題 1回										
		6. 刑務官採用試験過去問題 3回										
		7. 海上保安学校特別募集過去問題 5回										
		8. 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官過去問題 1回										
		9. 裁判所職員採用試験過去問題 1回										
		10. 全国統一公務員試験 8回										
評価方法	模試点数結果(総合得点)を100点満点に換算した点数の平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	模擬試験		◎		◎							100%
履修上の注意	2023年度の公務員試験実施内容によって、授業計画で示した授業内容に変更が生ずることもありうる。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。											

科目名	一般教養演習実戦Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	9単位		時間数	140時間		担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	公務員試験の過去出題問題を本試験同様の時間設定で受験することで、得点力をつける。また、2次試験に向けた知識習得および実戦的演習を通して公務員試験合格に必要な力を身につける。						
授業形態	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					公務員試験標準レベルの問題について、60%の得点率に達することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート 全国統一公務員模試、初級公務員試験過去問題(プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
		以下、全35回の模擬試験、過去問演習を行う。					
		1. 国家一般職・税務職員採用試験過去問題 8回					
		2. 裁判所職員採用試験過去問題 2回					
		3. 東京都職員採用試験過去問題 2回					
		4. 大阪府職員職員採用試験過去問題 1回					
		5. 特別区職員採用試験過去問題 4回					
		6. 警視庁警察官採用試験過去問題 2回					
		7. 東京消防庁消防官Ⅲ類採用試験過去問題 2回					
		8. 刑務官採用試験過去問題 6回					
		9. 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官過去問題 7回					
		10. 全国統一公務員試験 1回					
評価方法	8月1日～9月22日までの期間で実施する模試採点結果(総合得点)から換算した点数の平均成績で評価する。 ※時事問題など本年度試験対応に適切でない問題については計算の基礎から除外する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				100%
履修上の注意	2023年度の公務員試験実施内容によって、授業計画で示した授業内容に変更が生ずることもありうる。 また、社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	一般教養解説実戦Ⅰ													
科目名(英)														
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳					
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験							
対象学科・学年	公務員総合科2年													
授業概要	一般教養に関する問題演習と解説講義に関する授業で集中的かつ実戦的に学ぶ。													
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△					
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標								
	○	○				公務員採用試験(一次試験)に合格できる点数を取ることができる。								
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート 全国統一公務員模試、初級公務員試験過去問題(プリント)													
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示						
		以下、全15回の過去問演習を行い、解説を受講する。												
		1. 裁判所職員採用試験過去問題 2回												
		2. 東京都職員・特別区職員採用試験過去問題 2回												
		3. 海上保安学校特別試験過去問題 3回												
		4. 刑務官・海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官過去問題 5回												
		5. 東京消防庁・警視庁過去問題 3回												
	評価方法	模試点数結果(総合得点)100点満点に換算した点数の平均成績で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。												
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合		
模擬試験		◎		◎								100%		
履修上の注意	2023年度の公務員試験実施内容によって、授業計画で示した授業内容に変更が生ずることもありうる。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。													

科目名	一般教養解説実戦Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	70時間	担当者	福田一総/本多利幸/山端亜弥/田中純一/ 長友裕幸/賀来美和/山本剛/武内淳	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科2年						
授業概要	模擬試験問題についての解説を実施する。重要問題と誤解答が多かった問題について重要項目の内容説明と解法解説を実施し理解を深める。8月1日～9月22日までの期間で実施する全35回の模試演習の解説講義を下記の「授業計画」で示す内容で実施する(1回あたりの演習時間は2時間程度)。						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				模擬試験で、各回とも7割以上正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・高卒程度公務員試験過去出題問題 ・麻生キャリアサポート制作模擬試験						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
		以下、全35回の模擬試験、過去問演習の解説講義を行う。					
		1. 国家一般職・税務職員採用試験過去問題 8回					
		2. 裁判所職員採用試験過去問題 2回					
		3. 東京都職員採用試験過去問題 2回					
		4. 大阪府職員職員採用試験過去問題 1回					
		5. 特別区職員採用試験過去問題 4回					
		6. 警視庁警察官採用試験過去問題 2回					
		7. 東京消防庁消防官Ⅲ類採用試験過去問題 2回					
		8. 刑務官採用試験過去問題 6回					
		9. 海上保安学校・入国警備官・皇宮護衛官過去問題 7回					
		10. 全国統一公務員試験 1回					
評価方法	8、9月に実施する一般教養演習の各回の平均点を算出し、各学生の得点の平均点の差を100点満点に換算して評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。対象となる確認テストは別途告知する。なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						